



スペースコーディネーター
寺門 邦次 氏

打ち上げを担当。現地にてNASAとの打ち上げ調整業務を行う。広報室長、宇宙環境利用推進部長、宇宙飛行士室長、特任参事等歴任。その間、毛利宇宙飛行士、向井宇宙飛行士のスペースシャトル搭乗に際しては打ち上げ責任者を、また新しい宇宙飛行士の選抜責任者も務めるなど、常に日本の宇宙開発の最前線で活躍。

向井宇宙飛行士がスペースシャトルの中で宇宙短歌を詠み宇宙から手話を行ったことなど多くの企画を行い、宇宙を通して日本の文化を世界に発信するという試みの全てのアイデアを出す。宇宙と人をつなぐ「宇宙コーディネーター」として現在も幅広く普及、教育活動の推進に貢献。

日本大学法学部を卒業後、宇宙開発事業団（現在の宇宙航空研究開発機構JAXA）に入社。事業団設立当初の宇宙関係規定等の整備を行う。その後、国内初的大型ロケット（N-I）の打ち上げに参加。以降H-IIロケットの打ち上げまで従事。NASA（アメリカ航空宇宙局）ケネディ宇宙センターにて気象衛星（ひまわり）、通信衛星（さくら）、放送衛星（ゆり）の

1980年代後半から90年代、彗星・流星などの太陽系内小天体の軌道決定のための位置観測の分野で活躍した。これまでに800星以上の新しい小惑星を発見し、「時計台」「大通り公園」「知床」「間宮林蔵」「たこやき」「寅さん」など、日本に關係する地名・人名を国際天文学連合（IAU）の小惑星命名委員会へ提案。世界的な小惑星ハンターとして知られ、多くの星の名づけ親になっている。

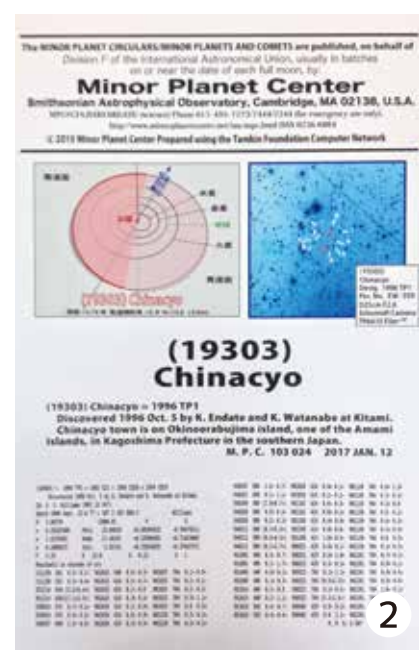
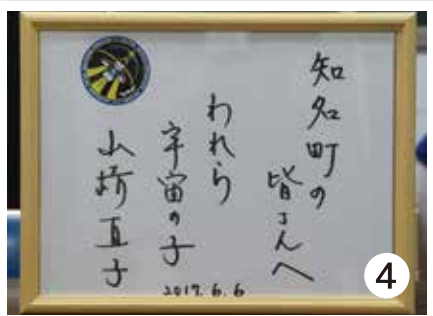
2007年6月には日本人宇宙飛行士の星出彰彦・山崎直子・古川聡3名の名前を小惑星に提案し、日本の宇宙飛行士8名の名付け親にもなっている。

現在、札幌道新文化センター「スターウォッチング・銀河を歩こう」の講師をつとめるかたわら、天文雑誌への執筆や天文年鑑の編集委員として天文普及活動に携わる。

2006年からは「天文や宇宙を知る市民セミナー」や「星の観察会」の開催など、一般へ科学を分かりやすく伝える、サイエンス・コミュニケーターとしての活動も展開している。



天文家
渡辺 和郎 氏



①渡辺氏より平安町長へ手渡された命名認定書 ②命名認定書には小惑星回報 [(19303) 知名町] に掲載された公表部分を抜粋整理されたものが書かれている ③山崎直子さんの直筆色紙が各中学校長へ手渡された ④色紙の詳細 ⑤記念缶バッジデザインの表彰を受けた田皆中学校 1 年根釜愛笑さん ⑥同じく知名中学校 3 年生市来愛実さん ⑦実際の缶バッジ（右が根釜さん、左が市来さんのデザイン）

